（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Happy 3un

公表日　2026年　11月　1日

利用児童数　2026年　11月　1日　回収数　8

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1			・個室があったり用途に合わせて使い分けも出来ていて子供サイズで安心感もあって良いと思います。 ・玄関スペースが少し広いと混雑時に親たちは子供の靴の着脱を急かさず自立を促すような声掛けや対応ができるのかなと思います。	・時間をずらしながら、十分なスペースが確保できるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7			1	・職員の人数も十分に配置されていると感じており、安心して子どもを預けることができています。 ・とても適切だと思います。適度に目を配ってくれているので子供本人もみてくれていると感じている場面が多いと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8				・本棚があって、おもちゃで遊べるスペースと、朝の会やご飯を食べる机と椅子があるスペースも分かれていて、子供も切り替えができる配置になっていると思います。 ・施設内がいつもスッキリと整理されていて、とても綺麗です。設備もきちんと整っており、子どもが安心して過ごせるような環境になっていると感じています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8				・全体的にヒノキで作られていて清潔感があります。子供たちの活動がしやすいように個室のスペースも分けられていたり、上が塞がっていないので何処にいても声が聞こえて安心だと思います。 ・全体的に木のぬくもりが感じられて、キレイで明るくてとても過ごしやすい空間だと思います。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7			1	・専門的な知識などに差があるのか、定型発達児の成長についての一般的なアドバイスだけではなく、発達障害児に対しての具体的なアドバイスをいただけると嬉しいです。 ・私たち親は素人で、自分の子供だけど対応できずに悩んでいることを先生方が子供に合わせた支援をして下さって、とても助かっていますし、安心してお願いが出来ています。	・職員研修等を通して全体的な知識の向上を図り、質の良い療育ができるように精進していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	8				・親のざっくりとしたこうなってほしいという希望(友達と遊んでほしいや身の回りのことができるようになってほしいなど)をうまく言葉にしてくれて長期目標と短期目標にわけてくれているしそれぞれの目標に対して日々の中でうまく支援してくれていると感じます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8				・面談や日々のフィードバックなどで出来るようになったこと、逆に課題がわかるようになっているのでそれに基づいて的確な支援計画書が作られていると思います。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			1	・子供の成長段階に合わせて細かい支援をして下さっていて、親が悩んでいることや希望も尊重して下さって、精一杯対応していただけていると思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8				・様々な遊びを通じて支援目標に到達できるように支援してくれていると感じます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7			1	・同じ遊びじゃなく制作をしたりサーキット遊びをしたり公園ではシャボン玉や砂場遊び、夏は水遊びなど様々な遊びの中で子供に沿った支援をしてくれているので本当にすごいと思います。 ・実際には工夫されているのだと思いますが、活動の中でどのような支援や目的があるのか、保護者からは少し見えにくいと感じる時があります。	・活動の目的や支援の目的をフィードバックや連絡帳アプリを用いて見える化を図っていきます。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1		1	・幼児園移行に向けて現在交流中です。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8				・運営規定や支援内容、利用者負担等について、丁寧に説明していただいたと記憶しています。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8				・子供の様子をよくみてくれているので個別の目標も子供にあったものを立ててくれて、それを達成するために細かくどう働きかけるかを計画書をお互いに確認しながら説明してくれています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7			1	・家族同士で交流する機会があり、他のご家族のお話を聞いたり、情報交換をしたりする中で、子どもへの関わり方などについて学ぶことができ、とても勉強になりました。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8				・朝の送りの時、お迎えの時のフィードバック等でその日の健康状態やできたことや以前と比べてできるようになったこと、もうちょっとで出来そうなことなど家での様子も交えて共通の認識ができていると感じます。 ・毎度、1日の様子を丁寧にお話して頂けるのと、困り事など相談できて本当に助かっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8				・個人面談を何回かお願いして、悩んでいることを聞いてくださったり、助言いただけています。 ・定期的に面談の機会があり、その際に子どもへの関わり方について相談したり、助言をいただいたりしています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8				・子供に寄り添って対応して下さったり、私たち親にも寄り添ってもらえていると思います。 ・必ずこちらの意向を聞いてくださる上での支援をしてくれています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6			2	・保護者同士が交流できる機会は設けられており、実際に参加することで他のご家族のお話を聞くことができ、勉強になりました。一方で、きょうだい向けのイベントや交流の機会については、把握していないため分かりません。 ・月に1回のオープンデーで親同士の交流する機会を設けてくれていると感じます。	・土曜日の保護者交流の際には、兄弟にも連れてきて楽しめように設定しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8				・相談や困ったことがあった際には適切に対応していただける体制が整っているように感じています。 ・こちらからお願いする時はすぐに対応して下さっていてとても助かっています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				・子どもの様子や日々の活動について、保護者に分かりやすく伝えていただいており、意思の疎通や情報共有についても配慮されていると感じています。 ・間に入って保育者さんがフォローして下さったり、毎回のフィードバックを聞けるので子供の様子がよくわかるのが有難いです。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8				・活動内容や行事予定などについては、定期的に発信されていると思います。ただ、自己評価の結果などについては、あまり把握していないため分かりません。 ・連絡アプリでその日のちょっとした日誌や後日やる行事予定など確認できています。また、インスタでHappy3unやSmiley3unの施設の説明やどのような活動をしているかなど定期的に発信しているので、通おうか迷ってらっしゃる方や児童発達支援はどういう所かわからない方にはとても助かるんじゃないかと思います。	・自己評価の結果はHPに載せているので、案内をしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				・個人情報について適切に取り扱われており、十分に配慮されていると感じています。	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8				・各種マニュアルが整備され、必要な情報についても保護者に周知・説明されていると感じています。 ・定期的に訓練がある。	

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			1	・避難訓練をされていました。 ・避難訓練の実施、災害時の連絡番号の確認をしてくれています。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	8				・事故や怪我がないように先生方が目を配って安全に配慮しながら支援してくださっていると思います。 ・子どもの安全に配慮した環境が整えられており、安全面についても十分に配慮された上で支援が行われていると感じています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8				・事故等が発生した場合には速やかに連絡や状況の説明をしていただける体制になっていると思います。 ・まだ怪我や事故で連絡を受けたことは幸いないですが、風邪などの熱でのお迎え要請は熱が何度でその時の様子など説明してくださっています。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	8				・今まで甘えたい時や、寝たい時は親でないとだめでしたが、先生方にちゃんと甘えられていて安心して通えているんだなと感じています。 ・完全に安心しきっていると思われます。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8				・通い始めた当初は泣いていましたが現在は駐車場から走って事業所までいくほどなので楽しいのだと思います。 ・毎日違う遊びや、お出かけにも連れて行って下さって毎日の刺激や遊びを楽しそうにしているなと思います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				・乳児園への移行がスムーズにできて助かりました。おかげで楽しく通え、クラスのみんなとも十分に打ち解けれたと判断したため、11月からは乳児園で行くことに決めました。 ・本当にこちらの支援には助けられています。どの先生も話しやすくて話すのが楽しいです。新しく入られた先生方も情報共有ができているのもあるし、よく子供を皆さんみてくれているのが伝わるので本当に感謝しています。 こちらに通い始めて出来るようになったことが多く感動しています。 ・もっと早くから通わせてあげたかったなと思う程、満足しています。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	Happy　3un

公表日　2026年　11月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		・利用定員に応じた指導訓練室等のスペースを確保しており、子どもたちが安全に活動できる環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		・利用定員に対して必要な職員を配置するとともに、子どもの年齢や発達状況、個々の特性等を考慮し、安全に配慮した職員体制を整えている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		・0～3歳児の発達段階に合わせ、子どもの目線や動線を考慮して物品の配置等を工夫している。また、必要に応じて写真・絵などを活用し、言葉だけでは伝わりにくい場合にも分かりやすく伝えられるよう配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		・子どもたちが安心して心地よく過ごせるよう、日々の清掃や衛生管理を行い、清潔な環境を整えている。また、0～3歳児の発達段階や活動内容に合わせて、遊びや運動、食事等のスペースを確保し、安全に活動できるよう環境を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	11		・子どもの状態や必要性に応じて、集団での活動から離れて落ち着いて過ごしたり、気持ちを切り替えたりできるよう、個別に過ごせる場所を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11		・職員から出た意見や気づきをもとに、より良い支援や業務につながるよう改善を行っている。 ・パート職員へも周知できるよう、ノートに記したり、口頭で確認している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		・保護者等を対象とした評価を実施し、事業所の支援内容や環境、保護者との関わり等について意向や意見を把握する機会を設けている。いただいた意見や評価結果を職員間で共有し、今後の支援や事業所運営の改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		・発言しやすい雰囲気作り、作業時間などコミュニケーションを多くとる。 ・日々の支援について話し合う機会もあるし、共有ノートなどもある。その一方で勤務日があいてしまうと朝業務ノートすべてに目を通すことが難しいことがあるので、目を通してから支援していけるようにしたい	・共有ノートの見る時間の確保を行っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11		・現時点では第三者による外部評価は実施していないが、保護者評価や職員間での振り返り等を通して、事業所の支援や業務について見直す機会を設けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		・外部研修への参加や法人内での研修を受講する機会が確保されており、職員の資質向上に取り組んでいる。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	11		・事業所の支援方針や子どもの発達段階を踏まえ、5領域との関連性を明確にした支援プログラムを作成している。作成した支援プログラムは、保護者等が確認できるよう公表し、事業所で行っている支援について理解していただけるよう努めている。	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		・利用開始時や計画の見直し時に、子どもの発達状況や生活の様子、得意なことや困っていること等についてアセスメントを行っている。また、保護者からの聞き取りや日々の関わりの中で得られた情報をもとに、子どもと保護者のニーズや課題を整理し、一人ひとりの状況に応じた児童発達支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		・児童発達支援管理責任者だけでなく、日々の支援に関わる職員から子どもの様子や変化、支援に関する気づきや意見を聞き取り、児童発達支援計画の内容を検討している。一人ひとりの子どもの発達や思い、保護者の意向を踏まえ、子どもにとってより良い支援につながるよう計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		・児童発達支援計画が、他のスタッフにも読みやすいよう保管されている。 ・どんな支援を行っていけば良いのかを職員間で共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	・子どもの育ちの状況に応じて適宜フォーマル・インフォーマルなツールを用いてアセスメントを実施している。事業所独自のフォーマルアセスメントバッテリーを定めたい。 ・子どもの遊び、行動状況を書き留めて、支援者で共有するとともに保護者にも伝えられている。	・事業所独自のフォーマルアセスメントバッテリーを検討していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		・児童発達支援ガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」のねらいを踏まえ、こどもの発達状況やニーズに応じた必要な項目を適切に設定している。また、それぞれの目標に沿った具体的な支援内容を設定し、計画的に支援を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		・こどもの発達状況や特性、ニーズを踏まえ、職員間で意見や情報を共有しながら、チームで活動プログラムを立案している。活動内容についても職員間で共通理解を図り、こども一人ひとりに適した支援につなげている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		・こども一人ひとりの発達状況や興味・関心、季節や行事等を踏まえ、活動内容や方法を工夫し、同じ活動が固定化しないよう取り組んでいる。こどもが楽しみながらさまざまな経験ができるよう配慮している。 ・子どもの発達状況や興味・季節に合わせて活動内容や遊び方を工夫し、同じ活動でも内容に変化をつけている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11		・こども一人ひとりの発達状況や特性、ニーズに応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援計画を作成している。計画に基づき、個々のこどもの状況に合わせた支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		・支援開始前に職員間で打合せを行い、その日のこどもの状況や支援内容、役割分担について確認している。職員間で情報を共有し、共通理解のもとチームで連携して支援を行っている。 ・役割分担については事前にわかるようになっており、活動・支援内容を職員で共有するようにしている。 ・担当表がありそちらをみてわかるようになっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		・終了後は時間が取れないこともあるため支援の合間などを活用し臨機応変に振り返りを行っている。さらに、ノートを用いて職員間の共通理解が図れるよう工夫している。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		・日々の支援内容やこどもの様子、変化等を適切に記録し、職員間で共有している。記録をもとに支援内容を振り返り、検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		・定期的にモニタリングを実施し、こどもの発達状況や支援の実施状況、目標の達成状況等を確認している。その結果をもとに児童発達支援計画の見直しの必要性を検討し、こどもの状況やニーズに応じて適切に見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		・子どもの様子や支援内容を把握している職員が参加し、情報共有してもらっている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		・地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と必要な情報を共有し、連携して支援を行う体制を整えている。こどもの状況やニーズに応じて関係機関と連携し、継続的な支援につなげている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		・こどもの状況や希望に応じて、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との併行利用や移行に向けた支援を行っている。関係機関と支援内容やこどもの状況について情報共有を行い、相互理解を図りながら、切れ目のない支援につなげている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			0～3では行っていないが、smiley3un移行時には、こどもの発達状況や支援内容等を適切に共有し、円滑に支援を引き継げるよう連携している。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	11		地域の児童発達支援センターと必要に応じて情報共有を行い、支援についての助言等を受ける機会を設けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	2	現段階では、まずは事業所内で他児との関わり方などを大切にし、身につけている。	今は定期的な交流の機会はないが、地域のこどもたちと交流できる機会を設け、他児と関わる経験も大切にしたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		日頃からこどもの様子や発達状況、課題等について保護者と情報共有し、共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	月に1回オープンデーを設け、親子通園で家族みんなで楽しめる五感刺激療育を実施している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		利用開始時に、運営規程や支援プログラム、利用者負担等について、保護者に分かりやすく説明している。また、疑問や不明点についても確認しながら、安心して利用できるよう努めている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	11		児童発達支援計画の作成・見直し時に、子どもの様子や保護者の意向を確認し、子どもの最善の利益となる計画立案に努めている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		児童発達支援計画を保護者に提示し、支援内容や目標について丁寧に説明した上で、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		月1のオープンデーの際に保護者同士で情報交換をする場を設けている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		月1回土曜日の際に、保護者同士が相談事や困りごとを交換する場を設けている。また、その際に子どもも一緒に参加するため、兄弟児との交流をもてている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		相談や申入れを受け付ける体制を整え、相談や申入れがあった際は、職員間で共有し、迅速かつ適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		連絡帳やHP、SNS等を活用し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に分かりやすく発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		個人情報の取り扱いについて、職員間で共通理解を図り、書類やデータ等の管理に十分配慮している。また、外部への情報提供についても適切に取り扱っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		子どもの発達や特性に合わせ、言葉だけでなく身振りや視覚的な手がかり等も活用し、分かりやすく伝えるよう配慮している。また、保護者とは送迎時等を通して、必要な情報を共有している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	10	地域との交流や行事への参加を検討し、地域に開かれた事業所づくりについて理解を深めていきたい。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		各種マニュアルを整備し、職員間で内容を共有している。また、避難訓練や引き渡し訓練等を実施し、緊急時に適切に対応できるよう備えている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害に備えた避難訓練や引き渡し訓練等を定期的に実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		利用開始時や必要に応じて、服薬状況や予防接種、既往歴、発作等の健康状態について保護者から確認している。また、必要な情報を職員間で共有し、安全な支援につなげている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		食物アレルギーのある子どもについて、保護者から必要な情報を確認し、医師の指示書等に基づいて適切に対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修・訓練を実施している。必要な措置を講じ、安全に配慮した環境のもとで支援を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	11		安全計画に基づく取組や、緊急時の対応等について掲示し、安全確保について共通理解を図っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		ヒヤリハット事例を記録し、職員間で共有している。事例を振り返り、再発防止に向けた対応や環境の見直しを図っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		虐待防止に関する研修の機会を確保し、職員の理解を深めるとともに、虐待防止に向けた適切な対応を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11		身体拘束の適正化について職員間で共通理解を図り、適切な対応を徹底している。	